

5節 フローリング張り
19.5.2 材料
複合フローリングのホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○
接着剤のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆

6節 畳敷き
19.6.2 材料
(表19.6.1)
施工箇所 種別 備考(程度)
OA種(WR-1)
OB種(WR-2)
OC種(PS-C20)
OD種(KT-I)
OD種(KT-II)
2.3階仮眠室 ●D種(KT-III)
OD種(KT-K)
OD種(KT-N)

7節 せっこうボードその他ボード及び合板張り
19.7.2 材料
(1)せっこうボード、その他ボード類
材種 厚さ(mm) 性能 工法 備考(程度)

8節 化粧板
(1)天然木化粧合板
化粧板のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○
(2)普通化粧板
施工箇所 表面の種類 板面の品質 厚さ 接着程度 仕上の種類 備考(程度)

(3)特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
施工箇所 化粧加工の方法 化粧加工の材料 表面性能 接着の程度 厚さ 備考(程度)

接着剤のホルムアルデヒド放散量:●F☆☆☆☆ ○
(8)遮音シール材:○適用しない ●適用する:○アクリル系シーリング材
○ウレタン系
○ジョイントコンパウンド

19.7.3 工法
(1)特殊下地(施工箇所):○ ()
(5)合板類の張り付け工法:○A種 ●B種 ○
(7)せっこうボードの目地処理工法:●縦目処理工法 ○突付け工法 ○目透し工法
●8節 壁紙張り
19.8.2 材料
(1)壁紙の種類及び防火性能
施工箇所又は仕上表の分類記号 材質 防火種別 備考(程度)

19.8.3 工法
(1)コンクリート面素地ごしえ :○A種 ●B種 ○
(2)せっこうボードの素地ごしえ:●A種 ○B種 ○
●9節 断熱・防露
19.9.2 断熱材打込み工法
断熱材 (JIS A 9521:2014 建築用断熱材)

19.9.3 断熱材現場発泡工法
工法 種類 難燃性 厚さ(mm) 施工箇所
ウレタン系不燃認定断熱材
●吹付け硬質ウレタンフォーム+不燃コーティング剤
●湿式不燃断熱材
●吹付け硬質ウレタンフォーム

20章 ユニットの工事及びその他工事
●1節 共通事項
●2節 ユニット工事等
20.2.2 フリーアクセスフロアー
施工箇所 本体材質 表面仕上材 平面寸法(mm) 床高(mm) 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能

20.2.3 可動間仕切(パーティション)
(2)材料等 (JISS A 6512)
施工箇所 構造形式による種類 構成材の種類 遮音性 表面仕上げ 備考(程度)

20.2.4 移動間仕切(スライディングドア)
(2)材料等
施工箇所 操作法による種類 表面材の材質 遮音性 表面仕上げ 備考(程度)

20.2.5 トイレブース
(2)材料
施工箇所 パネル表面材 脚部のタイプ 備考(程度)

20.2.6 階段滑り止め
(1)(2)材種、形状、寸法、取付け工法等
施工箇所 材種 巾(mm) タイヤ 取付け 備考(程度)

20.2.7 床目地樫
材質:●ステンレス(FB-16 HL) ○()

20.2.8 黒板及びホワイトボード
(1)黒板の種類
施工箇所 区分 種類 色 備考(程度)

20.2.9 鏡
(1)鏡の厚さ:●5.0mm ○()
(2)取付けステンレス:○止め金物 ○四角枠 ●設計図による

20.2.10 表示(サイン)
(1)ガラススクリーン衝突防止表示の形状、寸法、材質:●設計図による
(2)非常用進入口等の表示:●消防法に適合する市販品を使用する ○設計図による

20.2.11 煙突ライニング
(1)材料
施工箇所 煙突用成形ライニング材 最高使用温度(℃) 備考(程度)

20.2.12 プラインド(別途工事)
(1)材料
施工箇所 形式 材質 スラット巾(mm) 種類・操作方法 備考(程度)

20.2.13 ロールスクリーン(別途工事)
(1)操作方法、幅及び高さ
施工箇所 操作方式 幅×高さ スクリーン材種 スクリーン品質 備考(程度)

20.2.14 カーテン及びカーテンレール(カーテンは別途工事)
(1)形式、付属金物等
カーテンの形式(別途)
施工箇所 形式 引分形式 操作方式 備考(程度)

20.2.15 コーナービートコーナーガード
施工箇所 材質 備考(程度)

20.2.16 天井廻り縁
施工箇所 材質 備考(程度)

20.2.17 天井点検口
施工箇所 材質(枠) 寸法(mm) 表面材 備考(程度)

20.2.18 浴室天井材
(1)市販品
材質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備考(程度)

20.2.19 床床検口
施工箇所 材質(枠) 寸法(mm) 表面材 備考(程度)

20.2.20 視覚障害者用誘導床材
施工箇所 材質 寸法 備考(程度)

20.2.21 既製階段廊下すり
施工箇所 材質 寸法(mm) 備考(程度)

20.2.22 既製流し台つり戸
施工箇所 寸法(mm) 備考(程度)

20.2.23 ルーフドレイン
施工箇所 材質 寸法(mm) 備考(程度)

20.2.24 グレーチング
施工箇所 材質 適用荷重 備考(程度)

20.2.25 マンホールふた
施工箇所 寸法(mm) 適用荷重 機能 備考

20.2.26 化粧マンホールふた
施工箇所 目地材質 寸法(mm) 適用荷重 機能 備考(程度)

20.2.27 既製郵便受箱
施工箇所 材質 寸法(mm) 個数 備考(程度)

20.2.28 かぎ箱
材質(市販品) 形式(収納組数) 備考(程度)

20.2.29 防煙垂れ壁
固定式
材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考(程度)

可動式
種類 材質 高さ(mm) 備考(程度)

20.2.30 避難器具
施工箇所 種別 形式 備考(程度)

20.2.31 旗竿
材質 形式 地上高(m) 操作方式 備考(程度)

訂正

KUME SEKKEI 株式会社 久米設計
2022.3.30
PA 丸目 明寛 伊藤 彰彦
井上 健貴 杉山 拓哉

一級建築士 登録番号 269097号 伊藤 彰彦
一級建築士 登録番号 228482号 丸目 明寛

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部・笹野消防庁舎建設
建築工事一 意匠
建築工事特記仕様書7
A1判 A3判
A特-07

○ 3節 プレキャストコンクリート工事		● 3節 路盤		23章 植栽及び屋上緑化工事																																																											
20.3.2 材料	20.3.3 製作	22.3.2 路盤の厚さ及び仕上り	22.3.3 材料	23.1.3 植栽地の確認等	23.2.2 植栽基盤一般																																																										
<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>鉄線径</th> <th>網目寸法</th> <th>コンクリート強度</th> <th>配筋</th> <th>取付け方法</th> <th>備考(程度)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>●3.2mm以上</td> <td></td> <td>●標仕 ○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工箇所	鉄線径	網目寸法	コンクリート強度	配筋	取付け方法	備考(程度)		●3.2mm以上		●標仕 ○					○							○													(1)路盤の厚さ:●設計図による (1)路盤材料の種類、品質等 (表22. 3. 1) ○クラッシュラン ○粒度調整砕石 ●再生クラッシュラン ●再生粒度調整砕石 ○クラッシュラン鉄鋼スラグ ○粒度調整鉄鋼スラグ ○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ		● 1節 共通事項 (1)土壌の試験: ○行わない ●行う(○水素イオン濃度指数(pH) ○電気伝導度(EC)) ● 2節 植物基盤 (2)有効土層の面積:●設計図による (表23.2.1) 厚さ(単位:cm) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="4">樹木</td> <td rowspan="2">芝・地被類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高木</td> <td>低木</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>樹高(m)</td> <td>12以上</td> <td>7~12</td> <td>3~7</td> <td>3未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有効土層(cm)</td> <td>○100 ○120 ○150</td> <td>○80 ○100</td> <td>○60 ○80</td> <td>●50 ○60</td> <td>○20 ○()</td> </tr> </table> (3)植栽基盤の雨水排水: ○暗きよ ○開きよ ○排水層 ○縦穴排水 ●自然浸透 ○() (4)植栽基盤整備工法の種別: ○A種(樹木) ○B種(芝及び地被類) ●C種 ●D種 (表23.2.2) (5)土壌改良材の適用: ○行わない ●行う:(●バーク堆肥(50%/㎡) ○発酵下水汚泥コンポスト(10%/㎡) ○()			樹木				芝・地被類		高木	低木			樹高(m)	12以上	7~12	3~7	3未満		有効土層(cm)	○100 ○120 ○150	○80 ○100	○60 ○80	●50 ○60	○20 ○()
施工箇所	鉄線径	網目寸法	コンクリート強度	配筋	取付け方法	備考(程度)																																																									
	●3.2mm以上		●標仕 ○																																																												
	○																																																														
	○																																																														
	樹木				芝・地被類																																																										
	高木	低木																																																													
樹高(m)	12以上	7~12	3~7	3未満																																																											
有効土層(cm)	○100 ○120 ○150	○80 ○100	○60 ○80	●50 ○60	○20 ○()																																																										
○ 4節 間知石及びコンクリート間知ブロック積み		● 4節 アスファルト舗装		23.2.3 材料																																																											
20.4.2 材料	20.4.3 工法	22.4.2 舗装の構成及び仕上り	22.4.3 材料	22.4.4 配合その他	22.4.5 施工																																																										
(1)間知石の材種:() (3)コンクリート間知ブロックの種類:○() (3)コンクリート間知ブロックの質量区分:○() ○A(350kg以上) ○B(350kg未満) (4)地業の材料:●4.6.2(1)砂利地業に使用する砂利 ○再生クラッシュラン ○切込砂利 ○切込砕石 (2)砂地業に使用する砂 ○シルト ○有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ○川砂 ○砕砂		(1)構成及び厚さ:●設計図による (1)(イ)再生アスファルトの種類 ○60~80 ○80~100 (5)シールコート用の乳剤 ○PK-1 ○PK-2 (1)加熱アスファルト混合物等の種類 (表22.4.4) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域別</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>○一般地域</td> <td>●密粒度アスファルト混合物(13) ○細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>○寒冷地域</td> <td>○密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>—</td> <td>○粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table>		区分	地域別	種類	表層	○一般地域	●密粒度アスファルト混合物(13) ○細粒度アスファルト混合物(13)	○寒冷地域	○密粒度アスファルト混合物(13F)	基層	—	○粗粒度アスファルト混合物(20)	(1)植込み用土:●客土 ○現場発生土の良質土 (2)土壌改良材の種類:() (5)シールコート:●行わない ○行う(範囲) (3)アスファルト混合物等の抽出試験:○行わない ●行う(4 個所以上)																																																
区分	地域別	種類																																																													
表層	○一般地域	●密粒度アスファルト混合物(13) ○細粒度アスファルト混合物(13)																																																													
	○寒冷地域	○密粒度アスファルト混合物(13F)																																																													
基層	—	○粗粒度アスファルト混合物(20)																																																													
21章 排水工事		22.4.6 試験		22.4.6 試験																																																											
● 1節 共通事項		● 5節 コンクリート舗装		● 3節 植樹																																																											
● 2節 屋外雨水排水		22.5.2 舗装の構成及び仕上り		23.3.2 材料																																																											
21.2.1 材料	21.2.2 施工	22.5.3 材料		23.3.3 新植の工法																																																											
(1)排水管用材料の材種、管の種類、呼び径等: 材種:○遠心力鉄筋コンクリート管(外圧管) ○硬質ポリ塩化ビニル管(OVP OVU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(ORS-VU) ○排水用硬質ビニル管継手(ODV) ○屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(OVU継手) 管の種類:●設計図による 呼び径:●設計図による (4)側塊の形状及び寸法:●設計図による (5)排水樹の及びふたの種類等 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>形式</th> <th>耐荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考(程度)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計図による</td> <td>○鋳鉄製</td> <td>○600φ</td> <td>○防水型</td> <td>○T-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○アルミ製</td> <td>○</td> <td>○簡易防水型</td> <td>○T-6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製</td> <td>○</td> <td></td> <td>○T-14 ○T-20</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工箇所	材質	寸法(mm)	形式	耐荷重	鍵	備考(程度)	設計図による	○鋳鉄製	○600φ	○防水型	○T-2			○アルミ製	○	○簡易防水型	○T-6			○ステンレス製	○		○T-14 ○T-20			(1)コンクリート舗装の構成及び厚さ:●設計図による (1)寒冷地の縁部立下がり寸法:○() (2)早強ポルトランドセメント:●使用しない ○使用する (4)注入目地材料:●低弾性タイプ ○高弾性タイプ ○ 6節 カラー舗装 22.6.2 舗装の構成及び仕上り (1)カラー舗装の種類: ○加熱系 構成及び厚さ:() 表層に用いる加熱系混合物の結合材:○アスファルト混合物 ○石油樹脂系混合物 ○常温系 着色部の下部:○アスファルト舗装 ○コンクリート舗装 22.6.3 材料 (1)加熱系混合物に使用する骨材: ○着色骨材(焼成) ○着色骨材(樹脂被覆) ○自然石() 22.6.4 配合その他 (1)(イ)結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量:○() (2)ニート工法及び塗布工法の配合:○()		(2)樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用と数量:●設計図による。 (3)支柱材の適用:●設計図による。 (4)支柱の適用: ○添え柱形 ○鳥居形 ○ハツ掛け形 ○布掛け形 ○ワイヤ掛け ○地下埋設形 (1)新植樹木の枯補償の期間:●引渡しの日から1年 ○() (1)移植樹木の枯損処置を行う期間:●引渡しの日から1年 ○() ○ 4節 芝張り 23.4.2 材料 (1)芝の種類:○コウライ芝 ○ノシバ (4)地被類の種類 <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>株数(/㎡)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		樹種	芽立数	径	株数(/㎡)																												
施工箇所	材質	寸法(mm)	形式	耐荷重	鍵	備考(程度)																																																									
設計図による	○鋳鉄製	○600φ	○防水型	○T-2																																																											
	○アルミ製	○	○簡易防水型	○T-6																																																											
	○ステンレス製	○		○T-14 ○T-20																																																											
樹種	芽立数	径	株数(/㎡)																																																												
21.2.1 材料		○ 7節 透水アスファルト舗装		23.4.3 芝張りの工法																																																											
(1)排水管用材料の材種、管の種類、呼び径等: 材種:○遠心力鉄筋コンクリート管(外圧管) ○硬質ポリ塩化ビニル管(OVP OVU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(ORS-VU) ○排水用硬質ビニル管継手(ODV) ○屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(OVU継手) 管の種類:●設計図による 呼び径:●設計図による (4)側塊の形状及び寸法:●設計図による (5)排水樹の及びふたの種類等 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>耐荷重</th> <th>備考(程度)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計図による</td> <td>●鋼製</td> <td>設計図による</td> <td>●T-2 ○T-6 ○T-14 ●T-20</td> <td>溶融亜鉛メッキ</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工箇所	材質	寸法(mm)	耐荷重	備考(程度)	設計図による	●鋼製	設計図による	●T-2 ○T-6 ○T-14 ●T-20	溶融亜鉛メッキ	○ステンレス製	○			○				(1)構成:●設計図書(標準詳細図)による。 (2)舗装の平坦性:●散水のうえ、目視により確認 ○() 22.7.6 試験 (3)アスファルト混合物等の抽出試験:●行わない ○行う(個所以上)		(1)芝張り:○目地張り(平地) ○べた張り(切り土法面) 吹付けは種 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>量</th> </tr> <tr> <td>○洋芝類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○クローバー</td> <td></td> </tr> </table>		種類	量	○洋芝類		○クローバー																																			
施工箇所	材質	寸法(mm)	耐荷重	備考(程度)																																																											
設計図による	●鋼製	設計図による	●T-2 ○T-6 ○T-14 ●T-20	溶融亜鉛メッキ																																																											
	○ステンレス製	○																																																													
	○																																																														
種類	量																																																														
○洋芝類																																																															
○クローバー																																																															
21.2.2 施工		○ 8節 ブロック系舗装		23.4.4 吹付けは種の工法																																																											
(7)遠心力鉄筋コンクリート管の基底 厚さ:○() 種類:○() (8)硬質ポリ塩化ビニル管の基底 厚さ:○() 種類:○()		22.8.2 舗装の構成及び仕上り		23.4.5 地被類の工法																																																											
● 3節 街きよ、縁石及び側溝		22.8.3 材料		23.4.7 芝張り、吹付け、は種及び地被類																																																											
21.3.1 材料	21.3.1 材料	● 9節 砂利敷き		23.5.2 植栽基盤																																																											
(1)コンクリート縁石及び側溝の形状、寸法:●設計図による (1)コンクリート縁石及び側溝の形状、寸法:●設計図による (1)コンクリート平板の種類及び寸法:●N300 ●() (2)インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等:●設計図による (3)舗石に用いる石材の種類、形状及び寸法:●設計図による		22.9.2 材料		(1)屋上緑化システム 土壌層の厚さ:○() (1)(ウ)排水層: ○適用しない ○適用する: ○軽量骨材:軽量骨材の厚さ() ○透水排水管 ○板状成形品 (1)(オ)土壌層:植込み用土: ●改良土 ○人工軽量土 (4)樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立て数並びに刈込みものの適用及び数量: ●設計図による (5)見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等:●設計図による。 (1)平成12年建設省告示1458に対応した固定方法:●() (5)支柱の設置及び形式:●() (6)かん水装置の設置及び種類:●()																																																											
22章 舗装工事		● 10節 区画線 [追加]		23.5.3 材料																																																											
● 1節 共通事項		22.10.1		23.5.4 工法																																																											
● 2節 路床		路面表示位置及び間隔等:●設計図による ○() 路面表示の材料: ○1種 ○2種 ●3種1号 ○()																																																													
22.2.2 路床の構成及び仕上り	22.2.3 材料	22.2.5 試験																																																													
(1)(ア)凍上抑制層:○適用する(○切り込み砂利(厚さ cm)) ○適用しない (1)(イ)透水舗装のフィルター層: ○適用する(○車道部(○150mm ○ mm) ○歩道部(○50mm ○ mm)) ○適用しない (1)(ウ)路床安定処理: ●適用する(○添加材料による厚さ30cm、CBR5以上 ●添加量は目標CBRを満足するような添加量を適切な方法で定めて、監理者の承認を受ける。) ○適用しない:		(1)盛土に用いる材料の種類:○A種 ●B種 ○C種 ○D種 (表3.2.1) (2)寒冷地に適用される凍上抑制層に用いる材料:○() (21. 2. 1(10)) (3)路床安定処理用添加材料: ●普通ポルトランドセメント ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 ○生石灰特号 ○生石灰1号 ○消石灰特号 ○消石灰1号																																																													
(1)路床土の支持力比(CBR)試験:○行わない ●行う(3 個所以上) (2)路床締固め度の試験:○行わない ○行う(個所以上) (3)現場CBR試験:○行わない ●行う																																																															
訂正		B日 2022.3.30		PA 丸目 明寛 伊藤 彰彦																																																											
		PA 丸目 明寛 伊藤 彰彦		一級建築士 登録番号 269097号 伊藤 彰彦																																																											
		井上 健貴 杉山 拓哉		一級建築士 登録番号 228482号 丸目 明寛																																																											
				特記 ひとちなか・東海広域事務組合消防本部・笹野消防署庁舎建設 建築工事-意匠																																																											
		KUME SEKKEI 株式会社 久米設計		建築工事特記仕様書B																																																											
				A1判 A3判																																																											
				A特-08																																																											

